

2 カスミサンショウウオ

(サンショウウオ科)

兵庫県ランク:B

*Hynobius nebulosus*

環境省ランク:VU

種の概要

日本の固有種で、本州西部、四国東北部、九州に分布。成体の全長は95～115mm程度。肋条数はふつう13で、鋤骨歯列はV字型。前・後肢をお互いに向かい体側に沿って伸ばすと、指と趾の先端間に0.5～2肋皺分の隔たりがある。背面は緑褐色、淡い灰褐色、ないし暗褐色。卵囊の表面には明瞭な縦条がない。尾は側扁し、ふつう上縁に目立つ黄色の縦条がはしる。



県内における生息状況及びその他特記事項

県東部の一部と日本海沿岸域、及び急峻な山地を除き、県内の丘陵地や低山、平地の水田の周辺などにかけて広く見られるが、一般に生息密度は高くない。湧水の周辺や河川敷にできる止水に産卵する。

写真提供: 見澤 康充

保護上の留意点

近年、土地開発や再開発に伴う良好な生息環境の縮小、喪失が進んでおり、個体数も減少傾向にある。また個体群間の分断も進んでいることが懸念される。生息地やその周辺でのこれ以上の土地開発の進行を防ぐとともに、アメリカザリガニやアライグマといった外来性捕食者の駆除などの対策が望まれる。

県内分布

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加東市、多可町、姫路市、宍粟市、たつの市、福崎町、太子町、新温泉町、篠山市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 |   |
|     | 環境 | ○ |
|     | 捕獲 | △ |
|     | 遺伝 |   |
| 特殊性 | 特殊 |   |
|     | 孤立 |   |
| 学術性 | 極限 |   |
|     | 限界 |   |
|     | 希少 | △ |

